

補助金等支出明細書

法人名 (公社) 日本植物学会

1. 補助金等の名称 平成26年度科学研究費補助金

「研究成果公開促進費研究成果公开发表 (B)」

日本植物学会第78回(神奈川)大会 公開シンポジウム

「私達のくらしを支える植物の多様な遺伝資源」

2. 事業の目的及び内容

(1) 目的

食糧、医薬品、日用品をはじめ、私達のくらしは植物の遺伝資源の多様性の利用により成り立っている。ただ、それらがどのような起源を持ち、人間の手による改変(育種)を経て生産されることで私達の生活を支えているのか、彩りを与えているのかについてはよく知られていない。本公開講演会では、各分野で先端的な研究を進めている大学・企業の専門家の方に、植物の多様な資源の重要性について分かりやすく講演していただき、次世代を担う若者、および、広く一般市民の方々に理解を深めていただくことを目的とした。

(2) 講演会の概要

大会最終日の午後14:30より、川崎市麻生区の新百合ヶ丘ウェンティワンホールにおいて、5名の大学研究者と1名の企業研究者が「私達のくらしを支える植物の多様な遺伝資源」というテーマに関連する講演を行った。

大阪大学の村中教授は「医食同源～植物のいろいろなチカラ」というタイトルで、植物由来の多様な機能性成分がいかに私達の実生活に利用され、健康維持に貢献しているかについて、甘草の糖食糧、医薬品、日用品をはじめ、私達のくらしは植物の遺伝資源の多様性の利用により成り立っている。ただ、それらがどのような起源を持ち、人間の手による改変(育種)を経て生産されることで私達の生活を支えているのか、彩りを与えているのかについてはよく知られていない。本公開講演会では、各分野で先端的な研究を進めている大学・企業の専門家の方に、植物の多様な資源の重要性について分かりやすく講演していただき、次世代を担う若者、および、広く一般市民の方々に理解を深めていただくことを目的とした。リチルリチンなどを例に挙げながら講演した。横浜市大の坂教授は「コムギと唐辛子の多様な遺伝資源」というテーマで、食生活における植物遺伝資源の多様性の重要性と、コムギの緑の革命における日本の育種研究の果たした役割について講演した。同じく横浜市大の横山教授は、

「KODA のもつ多様な生理作用と可能性」というテーマで、彼自身が見いだした開花制御に関わる生理活性物質 KODA の研究と、その利用の可能性について講演した。

休憩後の後半では、東京大の塚谷教授が、「ボルネオ島の多様な植物：フィールドでの探索の実際」というタイトルで、ボルネオ島での調査研究を例に挙げ、地球レベルでの植物資源の多様性の豊富さとその重要性についての講演を行なった。サカタのタネ（株）の中田氏は、「サカタのタネにおけるメロン育種」というテーマで、果菜類の育種で世界をリードする日本企業の育種戦略や着眼点の紹介を行なった。そして明治大の伊藤講師は、「実は身近な太陽光・人工光型植物工場の野菜とその未来」というテーマで、最近しばしばマスコミ等にも取り上げられている植物工場の利用による農産物生産の実際と問題点、将来展望に関する講演を行った。

各講演には質疑応答の時間も設け、聴衆との議論も活発に行なわれた。

3. 交付先の公益法人の名称	(公社) 日本植物学会
4. 交付実績額	900,000 円
5. 補助金等における管理費	
(1) 会場借料	108,500 円
(2) 消耗品費	0 円
(3) 人件費・謝金	117,063 円
(4) その他	674,437 円
	合計 900,000 円
6. 外部への支出	
(1) 外部に再補助・再委託されているものに関する支出	
支出内容	支出先 金額
	合計 0 千円 (B)
(2) (1) 以外の支出	
支出内容	支出先 金額
	合計 0 千円
7. その他	内容 0 千円
	合計 0 千円
8. 再補助・再委託等の割合	0%(B/A)